

ま え が き

この薬価基準は、平成26年3月5日厚生労働省告示第61号に基づき編集したものです。平成26年4月1日から実施されます。

本書の使用にあたっては、つぎの各項にご留意ください。

1. 内用薬、外用薬、歯科用薬剤は一括して品名50音順に配列し、そのあとに注射薬を品名50音順で記載しました。
2. 品名の前に付した略号は以下の通りです。

〔先〕……薬価制度において「先発医薬品」として整理しているもの

〔準〕……昭和42年以前に承認・薬価収載された医薬品のうち、価格差のある後発医薬品があるもの

○……同一剤形・規格の後発医薬品がある先発医薬品（同一の含量であって、剤形が「錠剤（普通錠・口腔内崩壊錠）とカプセル」又は容器が「瓶、管、袋等のもの」については、「同一剤形・規格」とし、昭和42年以前に承認・薬価収載された医薬品であって、同一剤形・規格で価格差のある後発医薬品があるもの（内用薬及び外用薬に限る。）については、「準先発品」として同一剤形・規格の後発医薬品があるものとして整理）（平成26年4月1日現在）

〔後〕……診療報酬において加算等の算定対象となる後発医薬品

★……後発医薬品であるが、診療報酬において加算等の算定対象とならないもの（先発医薬品と同額又は薬価が高いもの）

以上は、「使用薬剤の薬価（薬価基準）に収載されている医薬品について（平成26年4月1日適用）」（厚生労働省、平成26年3月5日公表）（<http://www.mhlw.go.jp/topics/2014/03/tp0305-01.html>）に準拠。

〔外〕……外用薬 〔歯〕……歯科用薬剤

〔劇〕……劇薬 〔向〕……向精神薬 〔毒〕……毒薬 〔覚〕……覚せい剤原料

〔麻〕……麻薬 〔生〕……生物由来製品 〔特〕……特定生物由来製品

〔処〕……処方せん医薬品（内用薬・外用薬・歯科用薬剤の該当品目に対して表示）

〔局〕……日本薬局方収載医薬品（統一収載）

〔局〕……銘柄別収載日本薬局方収載医薬品

〔統〕……統一名で薬価収載された品目（統一名収載品目）（統一名収載の局方品を含む）

〔経〕……平成26年9月30日までの使用期限の経過措置品目。

〔経〕……平成27年3月31日までの使用期限の経過措置品目。

（経過措置品目は、平成26年3月5日厚生労働省告示第56号に基づく。）

※……製造販売承認の品名では、他社の品名と区別できない品目で、官報告示の際、品名の次に括弧書によって医薬品製造販売業者名の略称を加えたことを示す。

麻薬、毒薬、向精神薬、覚せい剤原料は、これらを調剤したとき加算（2種以上重複した場合は1種のみ）があるので、調剤料の算定の際には注意を要します。

また〔劇〕マークが付された品目であっても、散剤、細粒剤、顆粒剤であって、1服用単位ごとに分包化されたものは、劇薬から除外される場合もあります。

メーカー名は、製造販売承認取得会社名（可能な限りにおいて販売会社名）として記しました。薬価基準は、消費税に相当する額を含む価格で告示されています。

3. 内用薬、外用薬には可能な限り新一般名（配合剤を除く）、用法・用量等（必要に応じて標榜薬効等）を付しました。

用法・用量は、あくまでも調剤報酬算定の参考のためであり（平成26年2月時点での添付文書に準拠）、詳細等については、当該医薬品の添付文書を参照・確認・準拠してください。

4. 「薬効」と「分類」は原則として、「日本標準商品分類（平成2年6月改訂）」に準拠（一部改変）しております。本書p.xvの薬効分類を参照してください。

2014年3月5日

（株）薬事日報社

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
693.60	先(外)創(処)	アイオピジンUD点眼液1%	(1%0.1mL1個)	日本アルコン	眼科用剤	アブラクロニジン塩酸塩点眼液[アブラクロニジンとして10mg(1mL中)]	レーザー照射1時間前、及び照射直後に術眼に1滴ずつ点眼(レーザー術後眼圧上昇防止剤)	1319
307.00	後(外)	アイケア点眼液0.1%	(0.1%5mL1瓶)	科研製薬(テイカ製薬、科研製薬)	眼科用剤	精製ヒアルロン酸ナトリウム	(角結膜上皮障害治療用点眼剤)1回1滴、1日5~6回点眼し、適宜増減	1319
419.80	後(外)	アイケア点眼液0.3%	(0.3%5mL1瓶)	科研製薬(テイカ製薬、科研製薬)	眼科用剤	精製ヒアルロン酸ナトリウム3mg(1mL中)	角結膜上皮障害治療用点眼剤	1319
16.50	後(外)	アイケアミニ点眼液0.3%	(0.3%0.4mL1個)	科研製薬	眼科用剤	精製ヒアルロン酸ナトリウム点眼液	1回1滴、1日5~6回点眼、適宜増減、通常は0.1%製剤を投与し重症疾患等で効果不十分の場合0.3%製剤を投与(角結膜上皮障害治療用点眼剤)(0.4mL包装)	1319
11.10	後(外)統(経)	アイコザールクリーム1%	(1%1g)	富士製薬工業	抗真菌剤	ビホナゾールクリーム	1日1回患部に塗布(抗真菌剤)	2655
6.40	後	アイスフラット懸濁用配合顆粒	(1g)	長生堂製薬(日本ジェネリック)	制酸剤	乾燥水酸化アルミニウムゲル448mg(酸化アルミニウムとして224mg)、水酸化マグネシウム400mg(1g中)	1日1.6~4.8gを数回に分割、用時1gを約10mLの水に懸濁又はそのまま経口投与(消化性潰瘍・胃炎治療剤)	2349
1,553.60	先(創)創(処)	アイセントレス錠400mg	(400mg1錠)	MSD	抗ウイルス剤	ラルテグラビルカリウム錠	ラルテグラビルとして400mgを1日2回経口投与、食事の有無にかかわらず投与可、必ず他の抗HIV薬と併用(HIV感染症)(HIVインテグラーゼ阻害剤)	6250
6.00	後(外)局	アイデイト錠50mg	(50mg1錠)	鶴原製薬	痛風治療剤	アロプリノール	として1日量200~300mgを2~3回に分けて食後経口投与、適宜増減(高尿酸血症治療剤)	3943
7.70	後(外)統	アイデイト錠100mg	(100mg1錠)	鶴原製薬(鶴原、日本ジェネリック)	痛風治療剤	アロプリノール	として1日量200~300mgを2~3回に分けて食後に経口投与、適宜増減	3943
6.30	後(創)創(処)統	アイデイトロール錠10mg	(10mg1錠)	鶴原製薬	不整脈用剤	プロプラノロール塩酸塩	として1日30~60mgより投与をはじめ、効果不十分な場合は120mg迄漸増、1日3回分服、適宜増減、片頭痛発作の発症抑制:1日20~30mgより投与をはじめ、効果が不十分な場合は60mgまで漸増、1日2回あるいは3回に分割経口投与(β-遮断剤)	2123
84.80	後(外)	アイドロイチン1%点眼液	(1%5mL1瓶)	参天製薬	眼科用剤	コンドロイチン硫酸エステルナトリウム10mg(1mL中)	1日2~4回、1回1~2滴点眼[角膜表層の保護](角膜保護点眼剤)	1319
87.20	後(外)	アイドロイチン3%点眼液	(3%5mL1瓶)	参天製薬	眼科用剤	コンドロイチン硫酸エステルナトリウム30mg(1mL中)	1日2~4回、1回1~2滴点眼[角膜表層の保護]	1319
10.00	先(局)創(処)	アイトロール錠10mg	(10mg1錠)	トーアエイヨー(アステラス)	血管拡張剤	一硝酸イソソルビド	として1回20mg1日2回を経口投与、適宜増減、効果不十分時1回40mg1日2回迄漸増可、労作狭心症又は労作兼安静狭心症で発作回数及び運動耐容能の面で重症:1回40mg1日2回投与可(狭心症治療用ISMN製剤)	2171
15.70	先(局)創(処)	アイトロール錠20mg	(20mg1錠)	トーアエイヨー(アステラス)	血管拡張剤	一硝酸イソソルビド	として1回20mg1日2回を経口投与、適宜増減、効果不十分時1回40mg1日2回迄漸増可、労作狭心症又は労作兼安静狭心症で発作回数及び運動耐容能の面で重症:1回40mg1日2回投与可(狭心症治療用ISMN製剤)	2171
42.10	先(局)	アイピーディカプセル50	(50mg1カプセル)	大鵬薬品	アレルギー用剤	スプラタストシル酸塩	として1回100mgを1日3回毎食後に経口投与、適宜増減[気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎](アレルギー性疾患治療剤)	4490
50.80	先(局)	アイピーディカプセル100	(100mg1カプセル)	大鵬薬品	アレルギー用剤	スプラタストシル酸塩	として1回100mgを1日3回毎食後に経口投与、適宜増減(アレルギー性疾患治療剤)	4490
57.90	先(局)	アイピーディドライシロップ5%	(5%1g)	大鵬薬品	アレルギー用剤	スプラタストシル酸塩	として気管支喘息:小児には1回3mg/kgを1日2回朝食後・夕食後に用時溶解して経口投与、適宜増減、1日投与量は成人通常1日用量300mg(ドライシロップとして6g)を超えない、標準投与量はドライシロップとして1回量3歳以上5歳未満:0.75g、5歳以上11歳未満:1.5g、11歳以上:2.0g、1日2回朝食後及び夕食後、用時溶解	4490
983.90	先(外)	アイビナル点眼液0.01%	(0.01%5mL1瓶)	MSD	眼科用剤	イブジラスト	アレルギー性結膜炎(花粉症を含む):1回1~2滴、1日4回(朝・昼・夕方・就寝前)点眼(抗アレルギー点眼剤)	1319

アイ(内・外・歯)

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
450.70	先(外)宛	アイファガン点眼液0.1%	(0.1%1mL)	千寿製薬(武田薬品)	眼科用剤	プリモニジン酒石酸塩1mg(1mL中)	緑内障・高眼圧症で他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合:1回1滴、1日2回点眼(ドレナリンα2受容体作動薬 緑内障・高眼圧症治療剤)	1319
164.00	先(劇)宛	アイミクス配合錠HD	(1錠)	大日本住友製薬(大日本住友、塩野義)	血圧降下剤	イルベサルタン100mg・アムロジピン10mg(アムロジピンベシル酸塩13.87mg)(1錠中)	高血圧症:成人1日1回1錠を経口投与、本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない(長時間作用型ARB/持続性Ca拮抗薬配合剤)	2149
141.40	先(劇)宛	アイミクス配合錠LD	(1錠)	大日本住友製薬(大日本住友、塩野義)	血圧降下剤	イルベサルタン100mg・アムロジピン5mg(アムロジピンベシル酸塩6.93mg)(1錠中)	高血圧症:成人1日1回1錠を経口投与、本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない	2149
50.10	後(処)統	アイラックス錠200mg	(200mg1錠)	辰巳化学	抗ウイルス剤	アシクロビルとして単純疱疹:1回成人200mgを1日5回経口投与、造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症(単純疱疹)の発症抑制:200mgを1日5回造血幹細胞移植施行7日前より施行後35日迄経口投与、適宜増減[小児]通常、1回20mg/kg、1日4回、1回最高用量200mg(帯状疱疹800mg)(抗ウイルス化学療法剤)	6250	
71.80	後(処)統	アイラックス錠400mg	(400mg1錠)	辰巳化学	抗ウイルス剤	アシクロビルとして帯状疱疹:1回成人800mgを1日5回経口投与、小児:1回20mg/kgを1日4回経口投与、1回最高用量800mg、適宜増減(抗ウイルス化学療法剤)	6250	
5.60	後(処)経局	アイロクール錠10	(10mg1錠)	沢井製薬	血管拡張剤	一硝酸イソソルビドとして1回20mg1日2回を経口投与、適宜増減、効果不十分時1回40mg1日2回迄増量可、労作狭心症又は労作兼安静狭心症で発作回数及び運動耐容能の面で重症:1回40mg1日2回投与可(狭心症治療用ISMN製剤)	2171	
7.60	後(処)経局	アイロクール錠20	(20mg1錠)	沢井製薬	血管拡張剤	一硝酸イソソルビドとして1回20mg1日2回を経口投与、適宜増減、効果不十分時1回40mg1日2回迄増量可、労作狭心症又は労作兼安静狭心症で発作回数及び運動耐容能の面で重症:1回40mg1日2回投与可(狭心症治療用ISMN製剤)	2171	
966.70	先(外)宛	アイロミールエアゾール100μg (0.3854%8.9g1缶)		大日本住友製薬	気管支拡張剤	サルブタモール硫酸塩34.3mg(サルブタモールとして28.5mg)(1缶8.9g中)・1回噴霧主薬量サルブタモールとして100μg(1容器の噴霧回数約200回)サルブタモールとして成人1回200μg(2吸入)、小児1回100μg(1吸入)を吸入(定量噴霧式気管支拡張剤)	2254	
8.30	後(処)	アイロメート錠20mg	(20mg1錠)	沢井製薬	鎮けい剤	アフロクアロンとして1日量60mgを3回に分けて経口投与、適宜増減(筋緊張性疾患治療剤)	1249	
25.10	局(外)	亜鉛華「ホエイ」	(10g)	マイラン製薬(ファイザー)	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛	2649	
25.20	局(外)	亜鉛華デンブ	(10g)	局方品	収斂消炎保護剤	亜鉛華デンブ 1日1~数回、綿などに含ませて軽く散布[湿疹・皮膚炎、汗疹、間擦疹、日焼けの取れん・消炎・保護・緩和な防腐]	2649	
25.20	局(外)	亜鉛華デンブ「ケンエー」	(10g)	健栄製薬	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛50g・添加物としてパレイショデンブ(100g中)	2649	
28.00	局(外)	亜鉛華デンブ「コザカイ・M」	(10g)	小堺製薬	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛500g・添加物としてパレイショデンブ(1000g中)	2649	
25.20	局(外)	亜鉛華デンブ「司生堂」	(10g)	司生堂製薬	収斂消炎保護剤	亜鉛華デンブ	2649	
25.20	局(外)	亜鉛華デンブ「ニッコー」	(10g)	日興製薬	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛0.5g・添加物としてパレイショデンブ(1g中)	2649	
28.00	局(外)	亜鉛華デンブ「マルイシ」	(10g)	丸石製薬	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛50%・添加物としてパレイショデンブ	2649	
25.20	局(外)	亜鉛華デンブ	(10g)	山善製薬	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛50g・賦形剤:パレイショデンブ50g(100g中)	2649	
19.00	局(外)	亜鉛華軟膏	(10g)	局方品	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏:酸化亜鉛18.5~21.5%を含む(収斂・消炎・保護剤) 症状に応じ1日1~数回、患部に塗擦又は貼布	2649	
20.40	局(外)	亜鉛華軟膏「コザカイ・M」	(10g)	小堺製薬	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏	2650	
19.00	局(外)	亜鉛華軟膏 シオエ	(10g)	シオエ製薬(日本新薬)	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏 酸化亜鉛20g(100g中)、流動パラフィン・白色軟膏を基剤	2649	
19.00	局(外)	亜鉛華軟膏「司生堂」	(10g)	司生堂製薬	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏	2649	
19.00	局(外)	亜鉛華軟膏「東豊」	(10g)	東豊薬品	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏	2649	

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
19.00	局外	亜鉛華軟膏「日医工」	(10g)	日医工	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛200mg(1g中)	1日1～数回患部に塗擦又は貼布	2649
19.00	局外	亜鉛華軟膏「ニッコー」	(10g)	日興製薬(日興製薬、丸石製薬)	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏		2651
19.00	局外	亜鉛華軟膏「ハチ」	(10g)	東洋製化(健栄製薬)	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏		2649
19.00	局外	亜鉛華軟膏「ホエイ」	(10g)	マイラン製薬(ファイザー)	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏		2649
19.00	局外	亜鉛華軟膏「ヨシダ」	(10g)	吉田製薬	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏		2649
19.00	局外	亜鉛華軟膏「JG」	(10g)	日本ジェネリック	収斂消炎保護剤	亜鉛華軟膏		2649
22.50	後外	亜鉛華(10%)単軟膏「コザカイ・M」	(10g)	小堺製薬	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛100mg(10%)(1g中)	1日1～数回、患部に塗擦又は貼布(外用局所収れん剤)	2649
22.50	後外	亜鉛華(10%)単軟膏シオエ	(10g)	シオエ製薬(日本新薬)	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛10g(100g中)	ミツロウ、ダイズ油を基剤	2649
22.50	後外	亜鉛華(10%)単軟膏「ニッコー」	(10g)	日興製薬(丸石、健栄、日興)	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛100mg(10%)(1g中)	1日1～数回、患部に塗擦又は貼布	2649
22.50	後外	亜鉛華(10%)単軟膏「ホエイ」	(10g)	マイラン製薬(ファイザー)	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛100mg(10%)(1g中)	1日1～数回、患部に塗擦又は貼布	2649
22.50	後外	亜鉛華(10%)単軟膏「ヤマゼン」	(10g)	山善製薬	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛100mg(10%)(1g中)	1日1～数回、患部に塗擦又は貼布	2649
22.50	後外	亜鉛華(10%)単軟膏「ヨシダ」	(10g)	吉田製薬	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛100mg(10%)(1g中)	1日1～数回、患部に塗擦又は貼布	2649
95.40	後	アーガメイト20%ゼリー25g (20%25g1個)		三和化学研究所(アステラス)	循環器官用剤	ポリスチレンスルホン酸カルシウムとして1日15～30g(本品75～150g)を2～3回にわけ経口投与、適宜増減(1個(25g)中ポリスチレンスルホン酸カルシウム5g)[急性および慢性腎不全に伴う高カリウム血症](高カリウム血症改善剤)		2190
15.10	後	アーガメイト89.29%顆粒5.6g (89.29%1g)		三和化学研究所(アステラス)	循環器官用剤	ポリスチレンスルホン酸カルシウムとして急性および慢性腎不全に伴う高カリウム血症:1日15～30g(顆粒16.80～33.60g)を2～3回に分け、その1回量を水30～50mLを用いて経口投与、適宜増減(高カリウム血症改善剤)		2190
92.90	先○処	アカルディカプセル1.25 (1.25mg1カプセル)		日本ベーリンガー	強心剤	ビモバンダンとして慢性心不全(軽症～中等症):1回2.5mgを1日2回食後経口投与、適宜増減、但しジギタリス製剤・利尿剤等と併用(心不全治療薬)		2119
164.70	先○処	アカルディカプセル2.5 (2.5mg1カプセル)		日本ベーリンガー	強心剤	ビモバンダンとして急性心不全:1回2.5mgを経口投与、患者の病態に1日2回経口投与可、必要に応じてジギタリス製剤等と併用(心不全治療薬)		2119
13.60	後処	アカルボース錠50mg「サワイ」 (50mg1錠)		沢井製薬	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえで1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
13.60	後処	アカルボース錠50mg「タイヨー」 (50mg1錠)		テバ製薬	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえで1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
13.60	後処	アカルボース錠50mg「日医工」 (50mg1錠)		日医工	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえで1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
13.60	後処	アカルボース錠50mg「ファイザー」 (50mg1錠)		ファイザー	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえで1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
13.60	後処	アカルボース錠50mg「BMD」 (50mg1錠)		ビオメディクス	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえで1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
13.60	後処	アカルボース錠50mg「JG」 (50mg1錠)		日本ジェネリック	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえで1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
13.60	後処	アカルボース錠50mg「NS」 (50mg1錠)		日新製薬	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえで1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969

アカ(内・外・歯)

薬価	区分	品名 (規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
13.60	後(処)	アカルボース錠50mg「TCK」 (50mg1錠)	辰巳化学	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえ1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
13.60	後(処)	アカルボース錠50mg「YD」 (50mg1錠)	陽進堂(陽進堂、第一三共エスファ)	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえ1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボース錠100mg「サワイ」 (100mg1錠)	沢井製薬	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボース錠100mg「タイヨー」 (100mg1錠)	テバ製薬	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボース錠100mg「日医工」 (100mg1錠)	日医工	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボース錠100mg「ファイザー」 (100mg1錠)	ファイザー	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボース錠100mg「BMD」 (100mg1錠)	ピオメディクス	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボース錠100mg「JG」 (100mg1錠)	日本ジェネリック	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボース錠100mg「NS」 (100mg1錠)	日新製薬	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボース錠100mg「TCK」 (100mg1錠)	辰巳化学	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボース錠100mg「YD」 (100mg1錠)	陽進堂(陽進堂、第一三共エスファ)	糖尿病用剤	アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
13.60	後(処)	アカルボースOD錠50mg「タイヨー」 (50mg1錠)	テバ製薬	糖尿病用剤	アカルボース口腔内崩壊錠 アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえ1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
13.60	後(処)	アカルボースOD錠50mg「ファイザー」 (50mg1錠)	ファイザー	糖尿病用剤	アカルボース口腔内崩壊錠 アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、1回50mgより投与を開始、忍容性を確認したうえ1回100mgへ増量可、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボースOD錠100mg「タイヨー」 (100mg1錠)	テバ製薬	糖尿病用剤	アカルボース口腔内崩壊錠 アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
24.40	後(処)	アカルボースOD錠100mg「ファイザー」 (100mg1錠)	ファイザー	糖尿病用剤	アカルボース口腔内崩壊錠 アカルボースとして1回100mgを1日3回、食直前に経口投与、適宜増減(食後過血糖改善剤)		3969
30.20	準(処)	アキネトン細粒1% (1%1g)	大日本住友製薬	抗パーキンソン剤	ビペリデン塩酸塩として1回1mg1日2回より開始、漸増後1日3~6mgを分割経口投与、適宜増減		1162
5.60	(処)	アキネトン錠1mg (1mg1錠)	大日本住友製薬	抗パーキンソン剤	ビペリデン塩酸塩として1回1mg1日2回より開始、漸増後1日3~6mgを分割経口投与、適宜増減		1162
70.50	(統)	アキョウ (10g)	統一名収載品	生薬	アキョウ		5100
70.50	(統)	アキョウダイコーM (10g)	大晃生薬	生薬	アキョウ		5100
19.10	後(処)	アクリデン細粒1% (1%1g)	共和薬品	抗パーキンソン剤	ビペリデン塩酸塩として1回1mg1日2回より開始、漸増後1日3~6mgを分割経口投与、適宜増減		1162
5.60	後(処)	アクリデン錠1mg (1mg1錠)	共和薬品	抗パーキンソン剤	ビペリデン塩酸塩として1回1mg1日2回より開始、漸増後1日3~6mgを分割経口投与、適宜増減		1162
41.10	先(外)(処)	アクアテムクリーム1% (1%1g)	大塚製薬	化膿性疾患用剤	ナジフロキサシン10mg(1g中)適量を1日2回、患部に塗布、さ瘡に対しては洗顔後患部に塗布(新キノロン系外用抗菌剤)		2639

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
41.10	先外 [㊞]	アクアチム軟膏1%	(1%1g)	大塚製薬	化膿性疾患用剤	ナジフロキサシン10mg(1g中)	適量を1日2回、患部に塗布(新キノロン系外用抗菌剤)	2639
41.10	先 [㊞] 外 [㊞]	アクアチムローション1%	(1%1mL)	大塚製薬	化膿性疾患用剤	ナジフロキサシン10mg(1mL中)	適量を1日2回、洗顔後、患部に塗布(新キノロン系外用抗菌剤)	2639
38.50	㊞	アクセノン末	(1g)	大日本住友製薬	抗てんかん剤	エトoinンとして成人1日1〜3gを	毎食後および就寝前の4回に分割経口投与、小児には1日0.5〜1gを4回に分割経口投与、一般に初回より大量投与することは避け、少量より始め十分な効果が得られるまで漸増(抗てんかん剤)	1132
6.40	局	アクタミン散0.1%	(0.1%1g)	日新製薬	ビタミンB ₁ 剤	チアミン塩化物塩酸塩として成人1	回1〜10mg、1日1〜3回経口投与	3121
34.10	後 [㊞]	アクタリット錠100mg「サワイ」	(100mg1錠)	沢井製薬	解熱鎮痛消炎剤	アクタリットとして他の消炎鎮痛剤とともに1日300mgを3回に分割経口投与[抗リウマチ剤(DMARD)]		1149
34.10	後 [㊞] 経	アクタリット錠100mg「タイヨー」	(100mg1錠)	テバ製薬	解熱鎮痛消炎剤	アクタリットとして他の消炎鎮痛剤とともに1日300mgを3回に分割経口投与[抗リウマチ剤(DMARD)]		1149
34.10	後 [㊞]	アクタリット錠100mg「マイラン」	(100mg1錠)	マイラン製薬	解熱鎮痛消炎剤	アクタリットとして他の消炎鎮痛剤とともに1日300mgを3回に分割経口投与[抗リウマチ剤(DMARD)]		1149
34.10	後 [㊞]	アクタリット錠100mg「TCK」	(100mg1錠)	辰巳化学(辰巳、日本ジェネリック)	解熱鎮痛消炎剤	アクタリットとして他の消炎鎮痛剤とともに1日300mgを3回に分割経口投与[抗リウマチ剤(DMARD)]		1149
34.10	後 [㊞]	アクタリット錠100mg「TOA」	(100mg1錠)	東亜薬品(テバ製薬)	解熱鎮痛消炎剤	アクタリットとして他の消炎鎮痛剤とともに1日300mgを3回に分割経口投与[抗リウマチ剤(DMARD)]		1149
81.30	後 [㊞] 統 [㊞] 経	アクテオス顆粒40%	(40%1g)	テバ製薬	抗ウイルス剤	アシクロビルとして1回成人単純疱疹等:200mg、帯状疱疹:800mgを1日5回経口投与、[小児]単純疱疹等:1回20mg/kgを1日4回、1回最高用量は200mg、帯状疱疹等:1回20mg/kgを1日4回、1回最高用量は800mg		6250
50.10	後 [㊞] 統 [㊞] 経	アクテオス錠200	(200mg1錠)	テバ製薬	抗ウイルス剤	アシクロビルとして単純疱疹:1回成人200mgを1日5回経口投与、造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症(単純疱疹)の発症抑制:200mgを1日5回造血幹細胞移植施行7日前より施行後35日迄経口投与、適宜増減[小児]通常、1回20mg/kg、1日4回、1回最高用量200mg(帯状疱疹800mg)(抗ウイルス化学療法剤)		6250
71.80	後 [㊞] 統 [㊞] 経	アクテオス錠400	(400mg1錠)	テバ製薬	抗ウイルス剤	アシクロビルとして帯状疱疹:1回成人800mgを1日5回経口投与、小児:1回20mg/kgを1日4回経口投与、1回最高用量800mg、適宜増減(抗ウイルス化学療法剤)		6250
28.20	後	アクディームカプセル90mg	(90mg1カプセル)	あすか製薬(武田薬品)	酵素製剤	リゾチーム塩酸塩として1日60〜270mg(力価)を3回に分けて経口投与		3959
38.50	後	アクディーム細粒10%	(10%1g)	あすか製薬(武田薬品)	酵素製剤	リゾチーム塩酸塩として1日60〜270mg(力価)を3回に分けて経口投与		3959
110.20	後	アクディーム細粒45%	(45%1g)	あすか製薬(武田薬品)	酵素製剤	リゾチーム塩酸塩として1日60〜270mg(力価)を3回に分けて経口投与		3959
14.80	後	アクディーム錠30mg	(30mg1錠)	あすか製薬(武田薬品)	酵素製剤	リゾチーム塩酸塩として1日60〜270mg(力価)を3回に分けて経口投与		3959
6.20	後	アクディームシロップ0.5%	(0.5%1mL)	あすか製薬(武田薬品)	酵素製剤	リゾチーム塩酸塩 1日量:2歳未満3〜6mL、2〜6歳6〜8mL、7〜14歳8〜12mLを3分服		3959
8.50	後	アクディームシロップ1%	(1%1mL)	あすか製薬(武田薬品)	酵素製剤	リゾチーム塩酸塩 1日量:2歳未満1.5〜3mL、2〜6歳3〜4mL、7〜14歳4〜6mLを3分服		3959
50.70	先外 [㊞]	アクトシン軟膏3%	(3%1g)	ニプロパッチ(マルホ)	褥瘡皮膚潰瘍治療剤	ブクラデシンナトリウム30mg(1g中) 適量を潰瘍面を清拭後1日1〜2回ガーゼなどにのぼして貼付又は患部に直接塗布[褥瘡、皮膚潰瘍(熱傷潰瘍、下腿潰瘍)]		2699
73.80	先 [㊞] 局 [㊞]	アクトス錠15	(15mg1錠)	武田薬品	糖尿病用剤	ビオグリタゾン塩酸塩 ビオグリタゾンとして15mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与、適宜増減、30mgを上限(食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用する場合)(インスリン抵抗性改善剤-2型糖尿病治療剤)		3969

ハイ(内・外・歯)

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
5.60	後	バイアスピリン錠100mg	(100mg1錠)	バイエル薬品	抗血小板剤	アスピリン腸溶錠(フィルムコート錠)アスピリンとして100mgを1日1回経口投与、1回300mg迄増量可、川崎病の急性期有熱期間:1日体重1kgあたり30~50mgを3分割経口投与、解熱後回復期から慢性期:1日体重1kgあたり3~5mgを1回経口投与(抗血小板剤)		3399
12.50	局外	ハイアミン液10%	(10%10mL)	第一三共エスファ	殺菌消毒剤	ベンゼトニウム塩化物液	ベンゼトニウム塩化物10w/v%	2616
7.70	局外	ハイアラージン外用液2%	(2%1mL)	長生堂製薬(日本ジェネリック)	水虫治療剤	トルナフタート液	1日2~3回塗布又は塗擦(水虫治療剤)	2659
8.50	外	ハイアラージン軟膏2%	(2%1g)	長生堂製薬(日本ジェネリック)	水虫治療剤	トルナフタート軟膏	1日2~3回塗布又は塗擦(水虫治療剤)	2659
10.30	先局	バイカロン錠25mg	(25mg1錠)	田辺三菱製薬	利尿剤	メフルシドとして1日25~50mgを経口投与、この1日量を朝1回投与又は朝・昼の2回に分けて経口投与、適宜増減、ただし、高血圧症に用いる場合には少量から投与を開始して徐々に増量すること、悪性高血圧に用いる場合には通常他の降圧剤と併用(非チアジド系降圧利尿剤)		2135
24.20	準	ハイコパールカプセル500μg	(0.5mg1カプセル)	エーザイ	ビタミンB ₁₂ 剤	コバミドとして1日1500μg迄を1~3回に分けて経口投与		3136
6.20		ハイシー顆粒25%	(25%1g)	武田薬品	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与		3140
46.00	後局経	ハイシジン錠200mg	(200mg1錠)	富士製薬工業	抗トリコモナス剤	チニダゾールとして1クールとして1回200mg1日2回7日間経口投与、成人2000mgを1回経口投与しても良い(抗トリコモナス剤)		6419
122.70	後局経	ハイシジン錠500mg	(500mg1錠)	富士製薬工業	抗トリコモナス剤	チニダゾールとして通常成人2000mgを1回経口投与、投薬終了後、腔トリコモナス検出:投薬終了時より少なくとも1週間ぐらいの間隔を置いて再投与		6419
51.70	後外経	ハイシジン腔錠200mg	(200mg1個)	富士製薬工業	生殖器官用剤	チニダゾール チニダゾールとして成人1クールとして1日1回200mgを7日間腔内に挿入、投薬終了後腔トリコモナスを検出した場合:投薬終了時より少なくとも1週間ぐらいの間隔を置いて再投与(抗トリコモナス剤)		2529
23.20	外	ハイシップスプレー	(10mL)	前田薬品(日本臓器)	経皮鎮痛消炎剤	サリチル酸メチル2000mg・サリチル酸グリコール2000mg・ニコチン酸ベンジルエステル40mg・l-メントール3000mg・dl-カンフル3000mg・ジフェンヒドラミン400mg(1缶100mL中)1日1~数回、適量を患部に噴霧(4秒で約1mL噴出)		2649
28.80	局	バイシリンG顆粒40万単位	(40万単位1g)	MSD	抗生物質製剤	ベンジルペニシリンベンザチン水和物として1回40万単位を1日2~4回経口投与、梅毒:1回40万単位を1日3~4回経口投与(持続性経口ペニシリン製剤)		6111
7.00	後外	ハイジール消毒液10%	(10%10mL)	丸石製薬	殺菌消毒剤	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩		2619
5.10	後外	0.05W/V%ハイジール水	(0.05%10mL)	日興製薬(丸石製薬)	殺菌消毒剤	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩		2619
5.10	後外	0.1W/V%ハイジール水	(0.1%10mL)	日興製薬(丸石製薬)	殺菌消毒剤	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩		2619
5.10	後外	0.2W/V%ハイジール水	(0.2%10mL)	日興製薬(丸石製薬)	殺菌消毒剤	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩		2619
5.40	後外	0.5W/V%ハイジール水	(0.5%10mL)	日興製薬(丸石製薬)	殺菌消毒剤	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩		2619
59.50	後外	ハイセチン腔錠100mg	(100mg1錠)	富士製薬工業	生殖器官用剤	クロラムフェニコール	1回1錠1日1回局所に挿入[細菌性腔炎]	2521
24.20	後外	ハイセチンP軟膏	(1g)	富士製薬工業	化膿性疾患用剤	クロラムフェニコール20mg(力価)・フラジオマイシン硫酸塩5mg(力価)・ブレドニゾロン3mg(1g中)	1日1~数回	2639
34.30	準	ハイゼット細粒20%	(20%1g)	大塚製薬	個々の器官系用医薬品	ガンマオリザノールとして1日10~50mg又は1日300mgを食後3回に分割経口投与(高脂血症治療剤・心身症(更年期障害、過敏性腸症候群)治療剤)、過敏性腸症候群に用いる場合は、1日最高50mg(本剤250mg)迄とする		2900
9.80		ハイゼット錠25mg	(25mg1錠)	大塚製薬	個々の器官系用医薬品	ガンマオリザノールとして1日10~50mg又は1日300mgを食後3回に分割経口投与、心身症における身体症候並びに不安過敏性腸症候群には1日最高50mg迄(高脂血症治療剤・心身症(更年期障害、過敏性腸症候群)治療剤)		2900

薬価	区分	品名	(規格単位) メーカー	薬効	用法	用量	分類
10.60	準○	ハイゼット錠50mg	(50mg1錠) 大塚製薬	個々の器官系用医薬品	ガンマオリザノールとして1日10~50mg又は1日300mgを食後3回に分割経口投与、過敏性腸症候群には1日最高50mg迄(高脂血症治療剤・心身症(更年期障害、過敏性腸症候群)治療剤)		2900
5.80	後処	バイダキシム錠50mg	(50mg1錠) ナガセ医薬品(ファイザー)	催眠鎮静抗不安剤	トフィソパムとして1回50mg、1日3回経口投与(自律神経調整剤)		1124
12.10	後	ハイチオール散32%	(32%1g) 久光製薬	代謝性医薬品	L-システインとして湿疹・蕁麻疹・薬疹・中毒疹・尋常性ざ瘡・多形滲出性紅斑:1回80mg(散32% 250mg)1日2~3回、放射線障害による白血球減少症:1回160mg1日3回、経口投与(L-システイン製剤)		3999
5.60	後	ハイチオール錠40	(40mg1錠) 久光製薬	代謝性医薬品	L-システインとして湿疹・蕁麻疹・薬疹・中毒疹・尋常性ざ瘡・多形滲出性紅斑:1回80mg1日2~3回、放射線障害による白血球減少症:1回160mg1日3回、経口投与(L-システイン製剤)		3999
5.60	後	ハイチオール錠80	(80mg1錠) 久光製薬	代謝性医薬品	L-システインとして湿疹・蕁麻疹・薬疹・中毒疹・尋常性ざ瘡・多形滲出性紅斑:1回80mg1日2~3回、放射線障害による白血球減少症:1回160mg1日3回、経口投与(L-システイン製剤)		3999
16.30	外	ハイデルマートクリーム2%	(2%1g) 摩耶堂製薬(ミヤリサン製薬)	抗炎症鎮痒外用剤	グリチルレチン酸(白色の親水性軟膏) 適量を1日数回患部に塗布または塗擦(抗炎症・鎮痒外用剤)		2649
5.60	後統	ハイトコバミンMカプセル500μg	(0.5mg1カプセル) ニプロ	ビタミンB ₁₂ 剤	メコバラミンとして1日1500μgを3回に分けて経口投与(末梢性神経障害治療剤)		3136
11.80	先処	ハイトラシン錠0.25mg	(0.25mg1錠) アポットジャパン	血圧降下剤	テラゾシン塩酸塩水和物 テラゾシンとして高血圧症:1日0.5mg(1回0.25mg1日2回)より、効果不十分時1日1~4mgに漸増、1日2分服、適宜増減、1日最高投与量は8mg迄(持続性α1遮断薬)		2149
19.60	先処	ハイトラシン錠0.5mg	(0.5mg1錠) アポットジャパン	血圧降下剤	テラゾシン塩酸塩水和物 テラゾシンとして高血圧症:1日0.5mg(1回0.25mg1日2回)より、効果不十分時1日1~4mgに漸増、1日2分服、適宜増減、1日最高投与量は8mg迄(持続性α1遮断薬)		2149
35.50	先処	ハイトラシン錠1mg	(1mg1錠) アポットジャパン	血圧降下剤	テラゾシン塩酸塩水和物 テラゾシンとして前立腺肥大症に伴う排尿障害:1日1mg(1回0.5mg1日2回)より、1日2mgに漸増、1日2分服、適宜増減		2149
70.20	先処	ハイトラシン錠2mg	(2mg1錠) アポットジャパン	血圧降下剤	テラゾシン塩酸塩水和物 テラゾシンとして前立腺肥大症に伴う排尿障害:1日1mg(1回0.5mg1日2回)より、1日2mgに漸増、1日2分服、適宜増減		2149
318.30	先創処	ハイドレアカプセル500mg	(500mg1カプセル) プリストルマイヤーズ	抗悪性腫瘍剤	ヒドロキシカルバミドとして慢性骨髄性白血病:1日500mg~2000mgを1~3分服、寛解後維持:1日500mg~1000mgを1~2分服、適宜増減(抗悪性腫瘍剤)		4229
110.00	先処	バイナス錠50mg	(50mg1錠) バイエル薬品(日本新薬)	アレルギー用剤	ラマトロバンとして1回75mgを1日2回、朝食後及び夕食後(又は就寝前)に経口投与[高齢者には低用量(100mg/日)から投与を開始](アレルギー性鼻炎)		4490
138.30	先処	バイナス錠75mg	(75mg1錠) バイエル薬品(日本新薬)	アレルギー用剤	ラマトロバンとして1回75mgを1日2回、朝食後及び夕食後(又は就寝前)に経口投与(アレルギー性鼻炎)		4490
9.60	後処統	バイニロード錠5mg	(5mg1錠) 大正薬品(テバ製薬)	血管拡張剤	ニトレンジピンとして高血圧症、腎実質性高血圧症:1日5~10mgを1日1回経口投与、適宜増減(持続性Ca拮抗剤)		2171
9.90	後処統	バイニロード錠10mg	(10mg1錠) 大正薬品(テバ製薬)	血管拡張剤	ニトレンジピンとして狭心症:1回10mgを1日1回経口投与、適宜増減(持続性Ca拮抗剤)		2171
38.60	先処	ハイパジールコーワ錠3	(3mg1錠) 興和(興和創薬)	血圧降下剤	ニブラジロールとして1日6~12mgを1日2回に分割経口投与、適宜増減、最高用量1日18mg(高血圧・狭心症治療剤)		2149
71.20	先処	ハイパジールコーワ錠6	(6mg1錠) 興和(興和創薬)	血圧降下剤	ニブラジロールとして1日6~12mgを1日2回に分割経口投与、適宜増減、最高用量1日18mg		2149
376.50	先○外	ハイパジールコーワ点眼液0.25%	(0.25%1mL) 興和(興和創薬)	眼科用剤	ニブラジロール 1回1滴、1日2回点眼(緑内障・高眼圧症治療剤)		1319
9.10	後創経	ハイフスタン散10%	(10%1g) 日医工	鎮咳剤	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物として1回15~30mgを1日1~4回経口投与、適宜増減		2223

ハイ(内・外・歯)

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
10.70	後	ハイフル配合顆粒	(1g)	丸石製薬	消化酵素複合剤	ビオチンアスターゼ2000:5mg・セルラーゼAP3:5mg・ニューラーゼ15mg・プロザイム6:15mg・膵臓性消化酵素8AP40mg(240mg中)	1回240mgを1日3回食後経口投与、適宜増減(総合消化酵素製剤)	2339
8.80	後	パイペラック錠100mg	(100mg1錠)	大正薬品(テバ製薬)	解熱鎮痛消炎剤	エトドラクとして1日量400mgを朝・夕食後の2回に分けて経口投与、適宜増減(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)		1149
12.60	後	パイペラック錠200mg	(200mg1錠)	大正薬品(テバ製薬)	解熱鎮痛消炎剤	エトドラクとして1日量400mgを朝・夕食後の2回に分けて経口投与、適宜増減(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)		1149
19.70	先	ハイベン錠100mg	(100mg1錠)	日本新薬	解熱鎮痛消炎剤	エトドラクとして1日量400mgを朝・夕食後の2回に分けて経口投与、適宜増減(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)		1149
27.60	先	ハイベン錠200mg	(200mg1錠)	日本新薬	解熱鎮痛消炎剤	エトドラクとして1日量400mgを朝・夕食後の2回に分けて経口投与、適宜増減(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)		1149
7.20	後	ハイポアルコール液2%「ヤクハン」	(10mL)	ヤクハン製薬	殺菌消毒剤	チオ硫酸ナトリウム水和物2g・エタノール65mL(100mL中)		2619
7.20	後	ハイポエタノール液2%「ケンエー」	(10mL)	健栄製薬	殺菌消毒剤	チオ硫酸ナトリウム水和物2g・添加物としてエタノール(100mL中)		2619
7.20	後	ハイポエタノール液2%「ニッコー」	(10mL)	日興製薬(日興、丸石製薬)	殺菌消毒剤	チオ硫酸ナトリウム水和物2g・添加物:エタノール65mL(100mL中)		2619
7.20	後	ハイポエタノール液2%「ヨシダ」	(10mL)	吉田製薬	殺菌消毒剤	チオ硫酸ナトリウム水和物2g・エタノール65mL(100mL中)		2619
7.20	後	ハイポエタノール外用液2%「アトル」	(10mL)	アトルファーマ	殺菌消毒剤	チオ硫酸ナトリウム水和物2g・精製水35mL・エタノール適量(100mL中)		2619
14.70	後	ハイピピオン外用液10%	(10%10mL)	三恵薬品	殺菌消毒剤	ポピドンヨード 手術部位又は患部に塗布(外用消毒剤)		2612
5.80	後	ハイポライト消毒液10%	(10%10g)	サンケミファ	塩素酸塩製剤	次亜塩素酸ナトリウム(殺菌消毒剤)		2611
13.80	準	ハイボン細粒10%	(10%1g)	田辺三菱製薬(田辺製薬販売)	ビタミンB ₂ 剤	リボフラビン酪酸エステルとして通常、成人1日5~20mgを2~3回に、高コレステロール血症:1日60~120mgを2~3回に分割経口投与		3131
17.30		ハイボン細粒20%	(20%1g)	田辺三菱製薬(田辺製薬販売)	ビタミンB ₂ 剤	リボフラビン酪酸エステルとして通常、成人1日5~20mgを2~3回に、高コレステロール血症:1日60~120mgを2~3回に分割経口投与		3131
5.60	準	ハイボン錠20mg	(20mg1錠)	田辺三菱製薬(田辺製薬販売)	ビタミンB ₂ 剤	リボフラビン酪酸エステルとして通常、成人1日5~20mgを2~3回に、高コレステロール血症:1日60~120mgを2~3回に分割経口投与		3131
6.00		ハイボン錠40mg	(40mg1錠)	田辺三菱製薬(田辺製薬販売)	ビタミンB ₂ 剤	リボフラビン酪酸エステルとして通常、成人1日5~20mgを2~3回に、高コレステロール血症:1日60~120mgを2~3回に分割経口投与		3131
39.60	先	バイミカード錠5mg	(5mg1錠)	バイエル薬品	血管拡張剤	ニソルジピンとして高血圧症、腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症:5~10mgを1日1回経口投与(持効性Ca拮抗剤)		2171
78.60	先	バイミカード錠10mg	(10mg1錠)	バイエル薬品	血管拡張剤	ニソルジピンとして狭心症、異型狭心症:10mgを1日1回経口投与、適宜増減		2171
52.30	局	バイモ	(10g)	局方品	生薬	バイモ		5100
6.20	後	バイラブ顆粒10%	(10%1g)	イセイ	ビタミンB ₂ 剤	リボフラビン酪酸エステルとして通常、成人1日5~20mgを2~3回に、高コレステロール血症:1日60~120mgを2~3回に分割経口投与		3131
5.40	後	バイラブ錠20mg	(20mg1錠)	イセイ	ビタミンB ₂ 剤	リボフラビン酪酸エステルとして通常、成人1日5~20mgを2~3回に、高コレステロール血症:1日60~120mgを2~3回に分割経口投与		3131
35.80	先	バイロテンシン錠5mg	(5mg1錠)	田辺三菱製薬	血管拡張剤	ニトレンジピンとして高血圧症、腎実質性高血圧症:1回5~10mgを1日1回経口投与、適宜増減(持続性Ca拮抗剤)		2171
65.00	先	バイロテンシン錠10mg	(10mg1錠)	田辺三菱製薬	血管拡張剤	ニトレンジピンとして狭心症:1回10mgを1日1回経口投与、適宜増減(持続性Ca拮抗剤)		2171
6.20	後	パウロ散含嗽用0.4%	(0.4%1g)	堀井薬品工業	含嗽剤	アズレンスルホン酸ナトリウム水和物として1回4~6mgを適量(約100mL)の水又は微温湯に溶解し1日数回含嗽		2260
29.30	後	ハオプラ点眼液0.1%	(0.1%1mL)	日本点眼薬研究所	眼科用剤	ブロンプロフェン点眼液 1回1~2滴を1日4回点眼、適宜回数を増減(非ステロイド性抗炎症点眼剤)		1319